

いちびり

しなやかな精神で 毅然とした行動を!

なにわ名物 開発研究会 NEWS



野杵育郎
なにわ名物開発研究会
代表幹事

今年のゴールデンウィークの人は、曜日の流れにも恵まれ全般的に好調だった。大阪市内でも、海遊館が前年比28%増、エキスポランドや枚方パークも10%前後の増加。ホテルの稼働率もSARS影響下の昨年にくらべ大きく上昇したという。

当社直営店「なにわ名物・いちびり庵」も、四月にオープンした「道頓堀店」が予想を上回る実績を記録したのをはじめ、既存店売上も150%以上と前年より大幅にアップしている。実際、G・W期間中のミナミ、道頓堀界隈の賑わいはまさに「お祭り騒ぎ」。大阪観光に訪れる人々の目的地はやはり「ミナミ」である。その中心「道頓堀川」では、本年11月の完成をめざして「水辺整備事業」が着々と進められている。

従来、河川法により水辺(河川敷)の利用は大きく制限され、休憩スペースや看板の掲示、売店の設置などは原則不可能と

なっていた。しかし今春、広島の大田川と道頓堀川が「特区」としての規制緩和を受けることになった(河川敷地占用許可準則の特例措置)。この措置により、従来は困難であった飲食店売店・オープンカフェ・広告版・音響施設・照明などが設置可能となり、賑わい空間としての水辺利用ができるようになった。都市再生や地域の活性化等について寄与すべく策定された「特区」が、大阪にも適用されたことは、たいへん喜ばしいことといえる。

しかし、この措置は社会実験であり、今後は地元・市民・行政・関係者等が一体となり都市再生のモデルとなるような、素晴らしい、楽しく、ゆとりある魅力的な水辺空間をつくりあげていく必要がある。この水辺空間で演出されるソフト(イベントやアトラクション、舟運など)も含め、大阪市民共有の財産として国内はもちろん世界に誇れる場所として再生しなければならぬ。同時に、この動きはNPO設立や水辺協議会の設置など、国、市、地元関係者が致協力した「新しいしくみづくり」



写真提供 大阪市

ができてこそ成功だといえる。運営主体のNPO設立を含め、地元、市民の叡智と勇氣と行動力が大きく問われている。

規制緩和が進むなか、従来規制に守られていた既得権者とその権益を失くすことで、一時的には抵抗が生まれるかもしれない。しかし、旧い体制・組織が機能不全に陥っていることが都市活性化の大きなネックとなっている。新しい発想、しなやかで柔軟かつ、毅然とした態度で夢とビジョンを追求することが求められている。すでに成功しつつある地域には、これらの仕組みが備わっている。

なにわ名物開発研究会は今年度、「しなやかさ」「いちびり・はんわり精神」を忘れることなく、さらにしたたかに「行動力」を発揮して大阪を元気づけていきたい。

<第14号>
2004年5月24日発行
発行
なにわ名物開発研究会
編集
広報部
〒542-0076
大阪市中央区難波1-7-2
SENOYAビル3F
TEL・FAX 06-6213-5554
<http://www.naniwa-meibutsu.com/>

商品開発部会

「ならまち・奈良観光名所ツアー」報告

商品開発部会では、3月27日、山本武司さん（ヤマモト物産）のご案内で、ならまち・奈良観光名所ツアーを開催しました（参加メンバー：野村・藤井・水本・山本・北出）。お話を伺ったのは、鶴屋倶楽部当主・田中宏一さん（田中氏は、ならまち振興の中心的人物）と、奈良市経済部参事・林 啓文さん（4月より経済部長）です。

お二人によると、ならまちの魅力は、多様な要素で支えられている点に特徴があり、灯火会など季節の催しで、訪問者も増加しています。また、ならまちで商売を始めた人で、撤退した人はまだ聞かないそうです。商売をしたいという人が来ても、ならまちに合わない業種の場合は、お断りする場合もあるのだとか。

まちづくりの取り組み当初、住民は観光地化を警戒



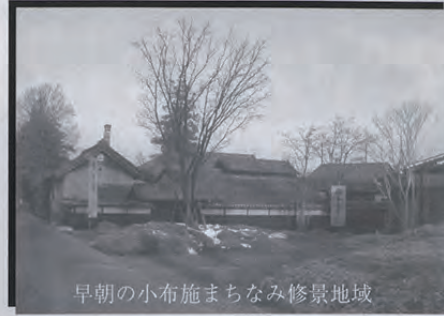
ならまちの風景

の解答を示しているのではないのでしょうか

商品開発部 北出 芳久

住民主体のまちづくり

「長野県小布施町ツアー」報告



早朝の小布施まちなみ修景地域

「栗と北斎と花の町」長野県小布施町は、長野盆地の北東に位置する、県で一番小さい町です。近年、観光地として脚光を浴び、観光客は年間120万人（町の人口の約100倍）を数えます。栗菓子は有名ですが、葛飾北斎の肉筆画を数多く集めた「北斎館」などいくつかの美術館があります。このツアーでは、国土交通省の「観光カリスマ」に選ばれた、まちづくり会社「株式会社・小布施」の代表取締役・市村良三さんのお話を伺いました。私が印象深く感じたのは、「産地を訪ねていったときは、」

報は集積するが、商品（消費者）の情報はまったくないからだ。「地産地消」にとどまらず、地域の産品に付加価値をつけて、消費につながる「結果観光」と「交流」が合言葉になっています。集客が主ではなく、観光の要素は、「小布施流」のまちづくりの結果に過ぎないという事です。まちの人と訪れた人が交流することによって、信頼が生まれ、ビジネスにつながっていきます。まちの資源も環境も、大阪とはまったく違いますが、名物づくりのポリシーという点では、非常に得るところが多いツアーでした。参加者からは「また行きたい」「住みたい！」の声もあがりました。

（ア・ラ・小布施HP <http://www.ala-obuse.net/>）

実施日：2月20日～21日
参加者：野村・野村・日野・堀川・山下・大西・大熊・北出

商品開発部 北出 芳久

「太平洋そごう 日本物産展・大阪コーナー」

台湾・台北

◆期間：3月23日から4月4日の2週間
◆場所：台北の太平洋そごう

日本物産展の中の大阪コーナー

今回は大阪をメインにした物産展で、物販のほかに、千房（お好み焼き）、くるる（たこ焼き）、らっぽぽ（アップルポテトパイ）、石割（鉛細工）、水野コロツケ（これは神戸です）が実演販売を行いました。

私は準備のため21日に現地入り。22日はテレビ・新聞の取材陣と一緒に太平洋そごうの関係者に実演・宣伝の1日でした。翌23日がイベント初日。台湾の大統領選の直後にもかかわらず、連日のお客様の多さには本当にビックリ。物販は、最初はチラホラしか売れていなかったのですが、朝食を始めたあたりからポチポチ人が集まりだした、という感じです。

一方の実演販売はとにかく大人気で、ほぼ完売。急遽私もお手伝いをする事に……。とにかく出来上がったとんに売り切れてしまう状態が続く、整理券を発行しながら1日中食事も出来ない忙しさでした。次回からは物販も「実演風」にした方が絶対売れます！（笑）

「1日ぐらいいは台湾観光」と思っていた夢はもろくも崩れ、24日5時起きで日本へ戻ってきました。太平洋そごうからまだ数字が届いていませんで、売上数字を出せなくて残念です。

（有アシスト 山下 敦子



本年度も好評の「初詣」「1月例会」「新年互礼会」の3点セットを1月22日木曜日に行いました。夕刻、難波八阪神社に集合し、祝詞、お神楽奉納で新年をお祝いし、場所をパンチャンに移し、1月例会、恒例の目標唱和により、なにわ名物開発研究会活動の原点を再確認し、明確にする事で、組織全体の結束と総合力を高め、本年度活動への励みとしました。

新年互礼会は、なにわの海の時空館 長石浜紅子様の乾杯ご挨拶を頂き、和氣 満々と始まり、パンチャンご自慢の中華料理を楽しみつつ、余興のビンゴゲームやジャンケン大会で盛り上がり、楽しいひと時を過しました。

お手伝い頂いた、事務局、総務部、会員交流部の皆さんお疲れ様でした。

(株)サクラレパス 松本 好正



◆場所

大阪市立難波市民学習センター研修室

◆講師

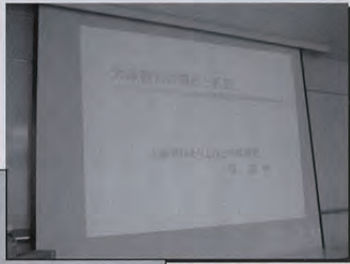
大阪市ゆとりとみどり振興局
文化集客プラン担当部長 堤 道明氏

◆テーマ

「大阪観光の現状と展望」

今回は、行政からのご意見等をいただきました。民間では、利潤を真っ先に追求しますが、大阪観光の「強み」「弱み」の分析やそれに基づいた今後の方向性など、行政ならではの大局的視点にたつたとでも有意義な内容でした。

(有)リーガルアシスト 所 信昭



恒例になっている事業ですが、平成16年3月17日(水)～19日(金)マイドームおおさかにて大阪ギフトショーが開催され、弊会も出展致しました。

お手伝い頂いた会員様お疲れ様でした。今回はサンタプラネット様出展の「オリジナル絵本」が新製品コンテスト大賞に選ばれ、なにわ名物開発研究会の商品企画力を内外に知らしめる事が出来ました。

又、3月月例会は、18日に会場マイドームおおさか横の商工会議所会議室で、ギフトショー出展者の個別PRを行い、会員相互の交流を深めました。



このような、会員様の対内、対外的なビジネスチャンス創世のお手伝いが、研究会活動の大きな柱の一つです。

皆さんも、研究会の事業を有効活用して、商売繁盛に結び付けて頂けたらと存じます。

(株)サクラレパス 松本 好正



難波千日前ファミリーボウルで30名(女性11名・男性19名)の参加選手のもと、6時半にスタート致しました。今回は招待選手として、4月12日まで道頓堀松竹座で活躍していたOSK日本歌劇団の劇団員若手女性4名とマネージャー嬢の計5名を迎え華やかなムードで行われました。競技は、各レーンに女性1名、男性2名の構成(なぜか私の所だけ2名、幹事の特権?)で、10レーンに分かれての対戦となりました。競技は7時半に終了致しました。

大熱戦の末、栄えある「優勝たこ焼ボウル」を手にしたのは、代表幹事の野村育郎氏。4回目にして初の栄冠に輝きました。スコアは、147点・183点(今大会のハイスコア)でした。競技終了後は、焼肉の「五苑」で懇親会を行ない、成績発表と表彰式が賑やかな中で行なわれました。優勝賞品は、DVDプレーヤー、準優勝は、ブレッドベーカー、3位は、体脂肪体重計等、豪華景品を取り揃えました。食事の方は、食べ放題、飲み放題でお腹いっぱいになるほど食べました。



今回は、リーズナブルに楽しめるよう、ゲーム(一、五〇〇円)、食事(三、〇〇〇円)に抑えました。みんな満足してもらったかな? (自画自賛)

(株)つせ 中村 二三

FROM部会

総務部会

事務局と連携し、「なにわ名物開発研究会」全体を見わたせるのが総務部です。本年度は、部員に負担がかからない範囲で役割分担を設け、昨年度以上に活発に活動します。また、月例会や各部会開催のサポートを通じて、会員の出席率を高めるのも大きな目標。総務部から「名物部員」も続々と誕生させます。お楽しみに！

部長 灰谷 幸

広報部会

前年度の2月、3月にゲストを招聘したディスプレイを開くなど、やっと広報部の一部分が見えてきたかなあと思っています。今年もゲストを招聘した広報部会や月例会、他部会との合同会を多く開催したいと思っております。皆様のご参加を大いに期待しております。

尚、「広報部はこうあるべきだ！」と思っておられる方はぜひ広報部へご意見、ご協力をお願い致します。

部長 田中 正雄

ビジネス交流部会

(会員交流部・ビジネス交流部に名称変更)
今期より、ビジネスサポートとの目的をより明確にする為に名称を変更しました。ビジネス部では、会員の皆様の「販売」「仕入」「管理」「財務」「法律」等企業活動におけるあらゆるご相談に対して、「研究会ネットワーク」を生かして、「紹介、アドバイスをを行い、皆様のお役に立つ事を願っております。所属希望の会員様はお気軽に松本までお問合せください。 matsu@dnw.ne.jp

部長 松本 好正

商品開発部会

今期は月一開催予定の開発部会(懇親会付き)と、秋に予定されております。観光名所現地見学研修会を中心に、例年どおり、ワイワイガヤガヤと活動予定を計画しております。部会に所属されていない会員さんにも、随時ご案内させていただきますので多数の皆様のご参加をお待ちしております。

「フツ」とした一言が商品化される…
つてな実例もありますヨ。
今期もよろしくお願ひ申し上げます。

部長 藤井 学

新入会員紹介

〈個人会員〉

吉原 直志
(有) 保険プランナー
ファイナンシャル・
プランナー (CFP)
心理カウンセラー

会員短信

瀧川銀平さん(株式会社茜屋)は、道頓堀店2階の「画廊」にて「懐かしいの歌声喫茶」と「蓄音機を聴く会」を定期開催しています。
瀧川さんは、自らアコーディオンを演奏する音楽ファン、以前から温めていた企画をこのたび実現したものです。
開催問い合わせは
TEL 090-8163-2357まで。

野村育郎さん(株式会社せのや)は、4月14日に、道頓堀中座跡「セラヴィスクエア中座1階」に「いちびり庵道頓堀店」をオープン。
いちびり庵としては最大規模の約30坪の店舗としてデビューしました。
TEL 06-6212-5104

住所及び会社名変更

- 島野涉さん(島野珈琲株式会社)
住所変更
〒547-0014
大阪市平野区長吉川13-17-25
TEL.06-6799-9000/FAX.06-6702-6581
- 鐘誠司さん(栄和株式会社)
住所変更
〒546-0021
大阪市東住吉区照ヶ丘矢田1-15-31-107号
TEL.06-6701-6358/FAX.06-6701-6358
- 富永英輝さん(株式会社アート)
住所変更
〒544-0003
大阪市生野区小路東2-8-6
TEL.06-6754-2131/FAX.06-6754-2139
- 所信昭さん(有限会社リーガルアシスト)
住所変更
〒582-0017
大阪府柏原市太平寺1-10-17
TEL.0729-70-3690/FAX.0729-70-3690
- 日野泰秀さん、会社名及び住所変更
会社名 株式会社ARS
住所
〒540-0029
大阪市中央区本町橋2-23 第7松屋ビル1231
TEL.06-6947-5264/FAX.06-6947-5254

部会活動などにお使い下さい

- 本部
大阪市中央区難波1-7-2
SENOYAビル3F
tel・fax (06) 6213-5554
- 事務局 (会議や諸事連絡)
大阪市中央区本町橋2-23
第七松屋ビル1231
tel (06) 6947-5260
fax (06) 6947-5254

入会について

- 入会金■
10,000円 (正会員)
5,000円 (協力会員)
- 年会費■
36,000円 (正会員)
12,000円 (協力会員)



会 員 紹 介

昭和三十七年に、青果物を中心とした給食材料卸業として設立。近年では、総合食品卸業として展開。
取り扱い商品が、お客様の口に入る商品だけに、商品一つを厳密にチェック。季節を感じていただきたく、旬の商品や新製品の案内など、常に情報収集に心がけ、お客様との関係を第一に考えています。
現在は、便利なカット野菜や体に優しい有機野菜の流通販売に力を入れ、営業展開をしております。
「お客様のニーズに添えて、いち早くの対応を！」を、モットーに社員全員が一丸となり、「ホウ・レン・ソウ」を絶やさずに、早朝から頑張っております。

株式会社 中島食品

〒558-0055 大阪市住吉区万代五-16-16
電話 06-(六六六七)六六七二七

有限会社 コスモスフーズ

〒542-0077 大阪市中央区道頓堀丁自専三十九
電話 06-(六二二三)九九八〇

私共はお客様に「安心・安全・健康」をモットーに、商品をお届けできるような取り組みをしております。
【安心】私共はお客様に安心をお届けする為に、「トレスピリティー」可能商品をご用意しております。「トレスピリティー」とは生産流通履歴を追跡出来るという仕組みです。一般消費者の食品不信には非常に効果があると言われております。
【安全】私共は商品を仕入れの際や加工する際に細心の注意を払って取り組みさせて頂いております。安全に当社の商品を召し上がって頂く為に、毎日努力しております。
【健康】 ナッツ・ドライフルーツ等の食品は栄養価が高く、健康食品としても非常に優秀な為、自然が生んだ「天然のサプリメント」と私共は位置付けております。